

# あこう社協だより



11月28日(土)・29日(日)、御崎地区において友愛訪問が実施されました。今回の友愛訪問では、御崎小学校の児童が参加し、まちづくり会員、民生委員児童委員、福祉推進員と一緒に対象者宅を訪問しました。

児童直筆の手紙や、お菓子を手土産に訪問し、「これからも身体に気を付けて、元気に生活してください」と伝えました。

見守りあいので安心して暮らせる地域になろう!②	2P
福祉作文入選者決定・大賞作品	4P
歳末たすけあい運動・サロン紹介	7P
各種講座等おしらせ	8P

## 見守りあいであん心して暮らせる地域になろう！ ②

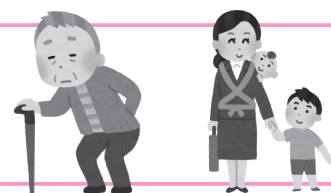
前号では、赤穂市における人口や高齢化率、ひとり暮らし高齢者の推移についてご紹介しました。高齢化だけが原因ではありませんが、地域には「介護」や「子育て」など、多様な生活課題がひそんでいます。それらの課題を解決する方法の一つとして、“住民同士の見守りあい”をご紹介していきます。

### あなたの周りに、このような“人・家”ありませんか？

- ひとり暮らしで近所付きあいがない人
- 病気がちで、外出の機会が減っている人
- 認知症や寝たきりの人を一人で介護している家
- 新聞、郵便物がたまっている家
- ゴミが放置され、異臭がする家
- 家を訪問しても、顔を見せてくれない人
- 子育てに悩んでいる人
- 暗くなっても明かりが灯らない家
- 窓、カーテンが閉まったままの家

など

### そんな人たちを地域で “見守りあい”



近年、高齢化や近所付きあいの減少により、孤立死や介護問題、子育て問題など、さまざまな問題が地域で起こっています。

そこで、身近な住民同士がお互いを気にかけて、支えあうことで、そうした問題を早期に発見し、深刻化を防ぐことができます。そのための第一歩として、“**見守りあい**”を進めていきましょう！

### どんなことから始めればいいのか？

まずは、日常でのあいさつを心がけましょう。

定期的に家を訪問することは有効ですが、気にかける、顔見知りになるだけでも十分です。

日常生活の中で、ある時は見守る側、またある時は見守られる側になります。あいさつを通して、少しずつ自分の生活状況や困りごとを話せる間柄になることが理想です。



### 地域で孤立しがちな人・世帯へは…？

近所との関わりが少ないひとり暮らし高齢者などへは、無理なく自然な形で気にかけて、見守っていきましょう。また、課題を抱えている世帯へは、親しい人や民生委員児童委員が定期的に訪問したり、ささいな困りごとがあったときにも、気軽に相談できる関係づくりが大切です。

地域ぐるみの見守りあいをすすめるためには、身近な住民のつながりや支えあいの大切さを、個人だけではなく、地域全体で共有していくことが大切です。

ご近所で、「安心して暮らせる地域づくり」について話しあってみませんか？

ご相談・お問合せは、社会福祉協議会（☎42-1397）まで！



# 平成27年度 福祉作文入選者決定!!

身近な福祉活動をテーマにした作文を募集しましたところ、小学生、中学生、高校生、一般の方より昨年を上回る計544点の応募をいただきました。慎重な審査の結果、次のみなさんが入選され、12月5日(土)に開催された「障がい者週間ともに考える市民のつどい」の席上で表彰されました。

(各部門大賞・特選・入選の方のみ)

## ◆福祉作文

(敬称略)

### 【小学生の部】

- 大賞** 石原 佳奈(赤穂小学校5年)
- 特選** 吉岡 七海(御崎小学校6年)
- 入選** 東 愛音(塩屋小学校5年)
- 塩田 彩斗(尾崎小学校6年)
- 吉川 心優(赤穂小学校5年)
- 瀬尾 凌賀(城西小学校6年)
- 有吉 宥人(塩屋小学校6年)
- 小林 良平(赤穂西小学校5年)
- 葛島 希光(尾崎小学校6年)
- 堤 萌翔(御崎小学校5年)
- 赤石 蒼矢(坂越小学校3年)
- 尾崎 舜(高雄小学校6年)
- 陰山 礼(有年小学校5年)
- 武藤 実桜唯(原小学校4年)
- 【中学生の部】**
- 大賞** 引本 麻里(赤穂東中学校3年)
- 特選** 小林 楓賀(赤穂中学校2年)
- 入選** 内山 さら(赤穂中学校2年)

### 佳作

- 照峰 賢也(坂越中学校2年)
- 濱崎 俊光(赤穂中学校3年)
- 真島 菜々子(赤穂西中学校2年)
- 岩間 風佳(赤穂東中学校1年)
- 松井 流斗(坂越中学校2年)
- 寺内 真耶(有年中学校3年)

### 【高校生以上の部】

- 大賞** 外磯 優(赤穂高等学校2年)
- 特選** 福井 正人(一般)
- 入選** 前田 かず子(一般)
- 長谷川 あさか(赤穂高等学校2年)
- 三上 生紗(赤穂高等学校2年)

ご応募いただいたみなさまには、深く感謝申し上げます。

入賞作品は福祉作文集にまとめ、市内の学校や各福祉施設にお届けするほか、社協でも配布し、広く福祉活動の場で活用させていただきます。

## ◆福祉作文(小学生の部) 大賞◆

### 『障がいと周囲の支え』

赤穂小学校5年 石原 佳奈



私は耳が聞こえにくくて補聴器をつけています。補聴器をつけるようになったのは、3才ぐらいの時に耳が聞こえにくいと分かったからです。お医者さんが、岡山のかたりや学園というところで勉強したり遊んだりするところがあると聞いていたので、3才の夏からかなりや学園に通い始めました。補聴器をつけただけで言葉を話せるようになるわけではなく、言葉を話す訓練をする必要があるからです。かなりや学園では、0〜6才の耳の不自由な子がたくさんいました。

3才の時は週4日、主に祖母、そして祖父や母に交代でつれていってもらいました。そのころのこと

は、ほとんど覚えていないけれど、岡山まで電車で片道1時間半以上かけて通っていました。当時は全然しゃべれなくて、指導中もずっと家の人の手にぎっていたそうです。今考えるとほずかしいけれど、不安だったのかなと思います。先生や他の子ども達に話しかけられても、すぐに家の人の後ろにかくれてしまっていたそうです。

4才からは、母が仕事をやめたので、ようち園に通いながら週3日、母の車でかなりやに行きました。4才ぐらいから言葉を少しずつしゃべるようになってきました。友達とも週1回だけいっしょに勉強をするようになり、だんだんと家の人からはなれて指導を受けられるようになりました。かなりやを卒園する時には、先生に、

「最初のころとは全然ちがって、よくお話しできるようになったね。」

と言ってもらえました。ようち園でも最初のころ

はよく泣いていたけれど、先生や友達に色々分からないうことを教えてもらいました。だんだんと、ようち園になれて喜んで行くようになったそうです。先生や友達や周りの人に助けてもらえて、私は成長できたんだなど感じます。

小学校では、学年のはじめに先生がみんなに私の耳のことを説明してくれます。例えば、私に後ろから話しかける時は肩をたたいてほしいとか、顔を見てはつきりしゃべってほしい、話す時は一人ずつ順番に話してほしいなど、私がどうすればわかりやすいかなどです。また、耳が聞こえにくいのはどんな感じかということやヘッドフォンをつけて実際に体験してもらったりもしました。おかげでみんなに私のことを理解してもらえてうれしいと思っています。

これからも、いろいろと周りの人に助けてもらうことがあると思います。来年は6年生になるので、一番上の学年としてやらないと

いけないことがたくさんあります。中学校や高校になると、もっと勉強がむずかしくなるし、いろいろな活動をしなくてはならないと思います。私にできるかなと心配ですが、自分でできることは自分でできるようにがんばりたいです。



◆福祉作文(中学生の部)大賞◆

『認知症って何?』

赤穂東中学校3年 引本 麻里



夕方のニュースで気になるニュースを耳にしました。高速道路の逆走。認知症の疑いあり…。「認知症」ってなんだろう…。

お母さんが以前、介護施設で働いていたので、尋ねてみました。

「簡単に言うと、最近のことから忘れていく病気。例

えば、さつき食べたご飯の事や、子どもの顔も名前すら忘れてしまったり。結婚して名前が変わった今の苗字は忘れてしまうけれど、結婚前の苗字は覚えていたり、さつき歌った歌は忘れてしまつて、わからないけれど、子どものころ覚えた童謡なんかはしっかり覚えている。つていう症状かな。」

私は、ショックでした。子どもの顔も名前も忘れてしまうなんて…。悲しい…。

もし私の祖母や両親が、認知症になったら、私の顔や名前を、いや、もしかして私を産んだことさえも忘れてしまうかもしれないなんて。そんなことを考えてみると、怖くなってしまいました。「認知症って怖いなあ。」私がそういうと、お母さんは、「確かに、大事な人や大事なことを忘れてしまうことは、ショックやな。当たり前をやっていた着替えも、どうやって着るのかすら、わからなくなってしまうやもんな。周りもショックだけど、一番、本人がショックだと思う。」

辛いと思う。少しずつ、少しずつわからなくなっていくし、周りにわからへんの?と言われて、そのことを認められず、苛々してしまつたり、落ち込んでしまつたりするようになるから。」着替え方を忘れてしまつ。そんなことまで。私は愕然としてしまいました。

「着替えることも?」「そう。わからないから袖に足を入れてみたり、逆にズボンに手を通してみたり…。面倒を見る家族や介護する側は自分のこともしながらになるから、苛々することもあるのも事実なんよ。その人の立場に立つてばかりではいられないのも事実。当たつてしまうことがあるのも事実…。人間やからな。でもそんな中でも、一生懸命、袖に足を入れてはこうとしたりしてる姿を見ると、和んでしまうこともあるんよ。そういう姿を見ると、苛々したりしてたことが、ばからしく思えてきて、笑つてしまうこともあったり。それを見て、その人もなんだかわからないけど、

こっちが笑つてるから自然と笑つてしまうんやろな。笑い合つてると、なんかそんなことでもよくなつてしまうんや。ええやん袖に足入れてしまつても。そんなこともあるわ、つてな。」私もその話を聞いて和んでしまいました。もし、祖母や両親が認知症になつて、いろんなことを忘れてしまつていくとなると、不安になつたり、悲しくなつたりするのは事実ですが、私も一緒に忘れてしまつたことを、受け止めなければいけないんだろうと思いましたが、悲しいという思いよりも、今起きている事実と向き合うことが大切なのかもしれないですね。認知症によつて、忘れてしまつていくことからおきる笑顔があることを、想像すらもできませんでした。でも実際あるのだということがわかりました。もし身近な誰かが私のことを忘れてしまつたとしても、私が覚えていようと思えば、忘れたことにならないからです。

これから、もっと社会は高齢者が多くなると思いますが。

関わることも増えると思います。もし私が「認知症」の症状のある方と出会うことがあるとしたら、笑顔でいたいと思いました。

◆福祉作文(高校生以上の部)大賞

『私が大切にすること』

赤穂高等学校2年 外磯 優



私には、近所に住んでいる祖母がいます。私の両親は共働きのため、私達兄弟3人は毎日祖母にめんどうを見てもらっています。

祖母はとても元気な人で、俳句やグラウンドゴルフなど趣味も多く、毎日をととても楽しく暮らしているように見えます。また、何でもテキパキこな

す性格で、マイペースな性格の私はよく怒られていきます。

そんな私の祖母ですが、最近少しずつ変わってきたことがあります。

耳が遠くなってきました。また、物忘れをすることがあります。どちらか人が年を重ねていくにつれて起こる、仕方のないことだと祖母は笑って話しています。

しかし、いつまでも元氣だと思っていた私の祖母が、どこの誰よりも元氣なんじゃないかとさえ思っていた私の祖母にまで、こんな変化が起こってきていると思うと、悲しいような寂しいような気持ちになります。できるならば、元に戻って欲しいと思います。これ以上ひどくなるのは怖いことです。

こんな心配をしている私ですが、私はたくさんのお世話を祖母に頼ってばかりいます。

祖母は平日は毎日、私の家の夕食の準備や片付け、掃除などをしてくれています。祖母は料理がうまく、

食べ盛りの私達のために栄養を考えたおいしいものをたくさん作ってくれます。食器を運んだり、私でもできるようなことは、できるだけ手伝うようにしていますが、祖母に頼らないとできないこともあります。

例えば、ズボンの丈が合わないときなど、祖母に頼むとあつという間に直してくれます。祖母は裁縫の達人でもあります。

そして何より、私が部活から帰ってきてすぐに風呂呂に入れるように準備してくれたり、私のためにいろいろのことを考えて、私には気が回らないようなことにも、祖母は気がついて何でもやってくれています。そんな祖母は、私にとっていつも感謝を忘れてはいけなない大切な存在です。

先日、親に感謝の手紙を届けるといいうプロジェクトが学校でありました。もちろん両親にも感謝していますが、私は祖母に手紙を書くことにしました。すると数日後、祖母から

私宛に手紙が送られてきました。手紙にはまず、私が穏やかに優しく話してくれているのが嬉しい、と書いてくれています。次に、自分は体のいろんな所が悪くなり、年をとったと感じているということ、元気で頑張つてまだまだ長生きしたいということ、そして、私の進学を応援しているということが書かれていました。最後には、これからもやさしくして下さい、と一言書かれてありました。私は、こんなに心が打たれた手紙を貰ったのは初めてでした。

私には、祖母を若返らせることもできないし、祖母が死なないようにすることもできません。しかし、祖母のことを考え、優しく接することはできます。

社会は高齢化が進み、私達の町にも福祉施設が増えてきたように思います。いろいろな福祉サービスを受けられるような環境も、考えられていると思います。それも大事なことです。私は、今自分ができる手

伝いや優しく声かけをする

ことなど、小さなことも大事にしていくべきだと思います。

それは、家族間ではもちろんですが、町で登下校中に出会う人や、病院に行つたとき待ち合い室で出会う人など、いろんな場面に出会う高齢者の方誰に対しても、できることなのではないかと思えます。

私たち若い世代の者が、今までお世話になつた人や今もお世話になつている人に、感謝の気持ちを持ち、小さなことでも自分にできることで、恩返しするよう優しい気持ちが必要だと思えます。

そういつたことから、人と人がつながり、そして、互いに支えあうような社会を目指していきたいと思えます。



歳末たすけあい運動

歳末たすけあい運動は、地域住民やボランティア、まちづくり連絡協議会などの関係機関・団体の協力のもと、誰もがあたたかい気持ちで新年を迎えられるよう、地域住民の参加や理解をいただきながら、福祉活動を重点的に展開していくものです。今年も、皆さまのご協力をお願いいたします。

三世代交流もちつき大会

各地区で三世代が一同に集い、交流のもちつき大会を実施し、おもちゃを持って対象者のお宅を訪問します。



友愛訪問

ひとり暮らし老人・高齢者世帯などを対象に、お弁当やお菓子・お手紙などを持って訪問します。



ひとり親家庭  
ランドセル購入助成 (新規)

平成28年4月に小学校へ入学する子どものいる、ひとり親家庭または両親ともにいないご家庭に、ランドセル購入費用の一部を助成します。



サンタクロース衣裳貸出 (新規)

楽しいクリスマスを過ごしていただくことを目的に、福祉団体等にサンタクロース衣裳の貸し出しを行います。



上記事業のほか、「被保護・要援護世帯児童生徒お年玉」「養護老人ホーム・児童福祉施設・障がい者福祉施設(市内)入所者たすけあい金」「赤穂精華園・さくらこども学園教材費」「更生保護女性会施設訪問活動費」「三世代交流事業」「生活困窮者支援」「ふれあい・いきいきサロン」「介護特別食サービス」などの事業を行うため、**750万円**を目標にしています。

～サロン紹介～

いきいきサロン 千鳥

11月のサロンでは27名の参加があり、2チームに分かれて、新聞紙や洗濯バサミ、うちわなど、身の回りにあるものを使って、ゲームを楽しみました。「がんばれ!」「次は勝つぞ!」と次第に熱が入り、大盛り上がるうちに終了しました。

その後、健康ミニ講座では、「五感を刺激して、脳を活性化させると、気持ちが前向きになる。その気持ちが、認知症や生活習慣病などの予防につながり、身体も心も健康になる」ということを学び、サロンに来て、みんなに会って、笑って、おいしいものを食べることが、五感の刺激になっていることが分かりました。

いきいきサロン千鳥では、自治会の福祉部の協力を得ながら、ゲームやミニ健康講座をはじめ、毎回工夫された内容で開催されています。

いきいきサロン千鳥

- 開設：平成21年7月
- 開催日：毎月第1日曜日 午前10時～11時50分
- 場所：千鳥集会所



～阪神・淡路大震災21年～

災害ボランティア研修会

# 1.17ひょうごメモリアルウォーク2016

阪神・淡路大震災から21年目を迎える平成28年1月17日(日)に、風化しがちな防災意識を新たにするとともに、震災の経験と教訓を発信し、1.17を忘れずに語り継ぐため、「1.17ひょうごメモリアルウォーク2016」が開催されます。

赤穂市社協では、相生市社協と協力し、下記のとおり参加ボランティアを募集します。

- 日 程 平成28年1月17日(日)  
午前7時15分福祉会館出発  
午後5時30分帰着(予定)
- 内 容 「1.17ひょうごメモリアルウォーク2016」(5キロコース)  
「1.17のつどい」への参加  
※大型バスで現地まで行きます。
- 募集人数 20名(定員になり次第締め切り)
- 参加費 一人1,000円(昼食代は別途自己負担)
- 申込締切 平成28年1月7日(木)
- 申 込 先 赤穂市社会福祉協議会 ☎42-1397



あなたのやさしさを善意の窓口へ

## 善意銀行だより

あたたかい善意をありがとうございました  
預託状況(11月1日～11月30日受付分)



### ●委任預託

(敬称略)

住 所	預 託 者	金 額	預 託 内 容
上 郡 町	三 上 芳 範	10,000	福祉のために
元 沖 町	円 応 教 朝 霧 教 会	63,000	バザー収益金として
有 年 橋 原	匿 名	3,000	車椅子借用御礼
坂 越	匿 名	1,000	車椅子借用御礼
有 年 横 尾	池 田 忠 生	100,000	亡母(喜美子)満中陰志
さつき町	宮 崎 輝 豊	16,308	福祉のために
中 広	溝 口 真 吾	5,000	福祉のために
加 里 屋	村 田 治	10,000	車椅子借用御礼
中 広	社協職員一同	14,454	しあわせフェスティバル売上金を
中 広	匿 名	1,000	車椅子借用御礼
御 崎	匿 名	15,000	福祉教育のために
中 広	匿 名	5,000	車椅子借用御礼
	赤穂市いずみ会	5,000	しあわせフェスティバル売上金を
塩 屋	匿 名	5,000	福祉用具借用御礼
新 田	松 本 美 喜 子	100,000	亡夫(正志)満中陰志
ほほえみ会、土筆会、みつばち		6,939	しあわせフェスティバル売上金を
上 郡 町	三 上 芳 範	10,000	福祉のために

◎善意銀行受付窓口・・・赤穂市社会福祉協議会◎

### ■ 編集後記 ■

昨年6月に実施した出会いの広場事業で知り合ったカップルより、成婚の報告がありました。平成25年からこの事業を開始し、第1号の成婚者です。当社協より、記念品を贈呈させていただきました。

心よりお二人の末永いお幸せをお祈り申し上げます。おめでとうございます。(ち)

60歳以上の  
男性限定!

## 輝くオトコの生き方講座

本講座では、日常生活で欠かすことのできない整理整頓と料理について学び、自立した生活を目指していきます!

日常生活に役立つ技能と知識を身につけましょう!



- ①平成28年1月22日(金) 午前10時～正午  
オトコも家事を楽しもう!～整理整頓のキホン～  
講師:整理収納コンサルタント 笹田 奈美子 氏
- ②平成28年1月29日(金) 午前9時30分～正午  
冷蔵庫の残り物でできるパパッと料理教室  
～片付けまでキッチリと～  
講師:赤穂市いずみ会

- 場 所:赤穂市総合福祉会館
- 対 象:60歳以上の男性
- 定 員:15名(応募多数の場合は抽選)
- 受 講 料:500円(材料代・保険料として)
- 注意事項:2回とも参加できる方を優先します。  
アレルギーのある方は事前に申し出てください。
- 申込締切:平成28年1月15日(金)



お問い合わせ・お申し込みはこちら!

赤穂市ボランティアセンター 赤穂市中広267番地 ☎42-1397

## 賛助会費ありがとうございました(敬称略)

【個人】榎本 由香子 匿名1件

福祉の拠点をみんなで支えてください。  
(法人会費:5,000円、個人会費:2,000円、一般会費:500円)

賛助会費は、社会福祉協議会の貴重な財源です。安定した地域福祉事業の充実や発展を図るためにも、皆様のあたたかいご援助が必要です。ご協力をお願いいたします。

## 心配ごと相談所のご案内 (12月9日～1月13日まで)

【一般相談】 12月9日(水) 1月6日(水)  
1月13日(水)

【弁護士相談】(要予約) 12月16日(水)

【カウンセラーによるこころの相談】(要予約)  
1月6日(水)

※時間はいずれも午後1時～5時までです。  
※相談は無料です。

ご意見・問合せは

社会福祉法人 赤穂市社会福祉協議会

〒678-0232 赤穂市中広267番地

電話 0791-42-1397 FAX 0791-45-2444

赤穂社会福祉協議会 検索 赤穂市社会福祉協議会で検索してください

